

みずほCustomer Desk Report 2023/02/24号 (As of 2023/02/22)

市場営業部 為替営業第二チーム

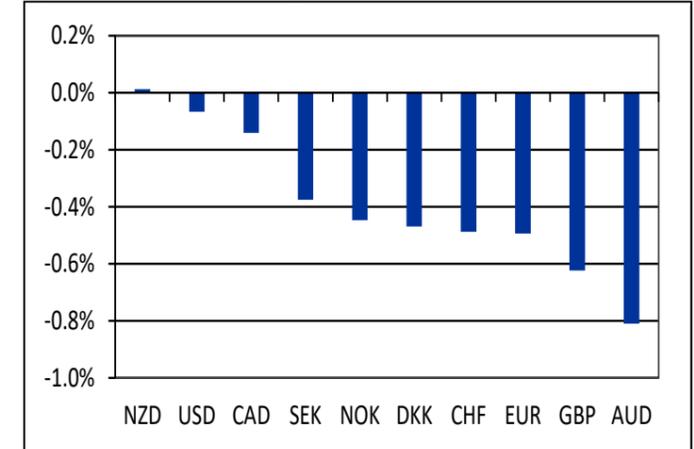
【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	134.90 AUD/USD
TKY 9:00AM	135.01	1.0650	143.81	1.2106	0.6863
SYD-NY High	135.06	1.0662	143.84	1.2134	0.6864
SYD-NY Low	134.38	1.0598	143.06	1.2035	0.6795
NY 5:00 PM	134.92	1.0606	143.07	1.2044	0.6805
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33045.09	▲ 84.50	日本2年債	▲0.0300%	0.0000%
NASDAQ	11507.07	▲ 14.77	日本10年債	0.5000%	0.0000%
S&P	3991.05	▲ 6.29	米国2年債	4.6964%	▲0.0316%
日経平均	27104.32	▲ 368.78	米国5年債	4.1631%	▲0.0105%
TOPIX	1975.25	▲ 22.21	米国10年債	3.9254%	▲0.0272%
シカゴ日経先物	27040.00	▲ 220.00	独10年債	2.5110%	▲0.0220%
ロンドンFT	7930.63	▲ 47.12	英10年債	3.6000%	▲0.0070%
DAX	15399.89	▲ 2.27	豪10年債	3.8480%	0.0100%
ハンセン指数	20423.84	▲ 105.65	USDJPY 1M Vol	12.72%	0.24%
上海総合	3291.15	▲ 15.38	USDJPY 3M Vol	12.18%	▲0.05%
NY金	1841.50	▲ 1.00	USDJPY 6M Vol	11.49%	▲0.02%
WTI	73.95	▲ 2.41	USDJPY 1M 25RR	▲1.10%	Yen Call Over
CRB指数	266.10	▲ 2.38	EURJPY 3M Vol	11.47%	0.04%
ドルインデックス	104.59	0.41	EURJPY 6M Vol	11.18%	0.04%

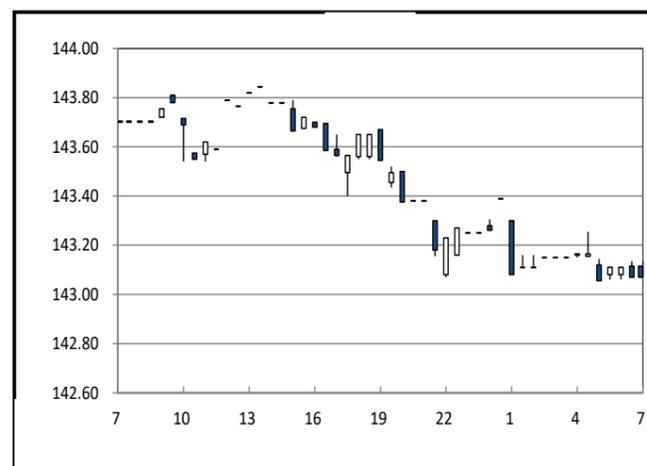
【ドル円相場】



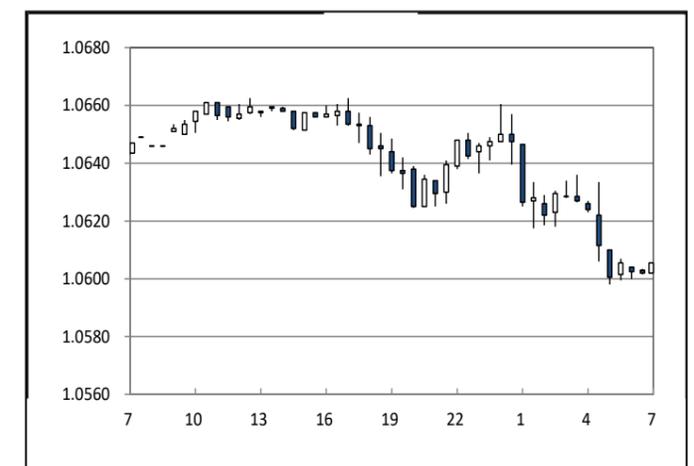
【対円騰落率(日次)】



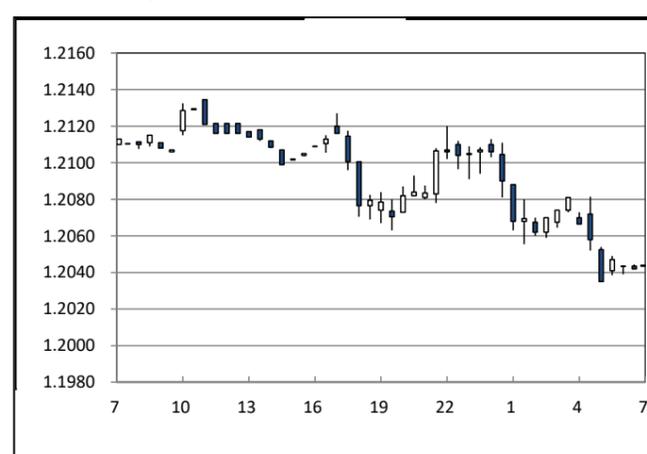
【ユーロ円相場】



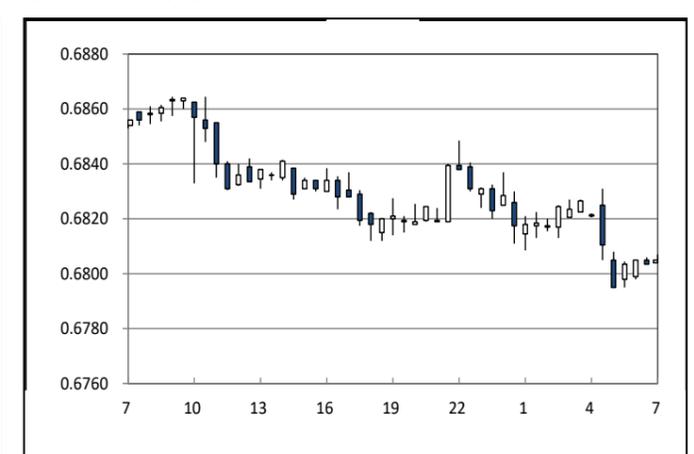
【ユーロドル相場】



【ポンド相場】



【豪ドル相場】



東京 東京時間のドル円は135.01レベルでオープン後、実需の売りや利食いと思われる動き等も入り134.56近辺まで下落。その後は、足元米国で堅調な経済指標結果が続いていることで円売方向に転じにくいFEDに備え、再びドル買いに転じる。135円近辺まで上昇した後、134.86レベルで海外時間へ渡った。

ロンドン ロンドン市場のドル円は134.86レベルでオープンし、正午にかけて小動き。その後、米MBA住宅ローン申請指数が-13.3%と発表され、先週の-7.7%に続きさらに減少したことを受けて市場はドル売りが優勢となり、ドル円は一時134.38まで売られ、134.48レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.0656レベルでオープン。独2月IFO企業景況感指数は予想91.2を下回り91.1と発表されたが、ユーロドルに顕著な動きは影響は見られず、1.0648レベルでNYに渡った。

ニューヨーク 海外市場のドル円は135円ちょうど付近でスタートするが、心理的節目となるこの水準では利益確定の売りが散見されたほか、日本の長期金利が日銀のイールドカーブ・コントロール政策のレンジ上限とされている0.5%を再び上回り、日米金利差縮小の見方が上値を抑制し、134.60近辺まで下押し。早朝には再び135円手前まで上昇する場面もあったが、ブラッド・セントリス連銀総裁がインタビューで「米経済の緩やかな成長減速、物価下落を予想」と述べ、過去発言と比較し円売色の強い発言が伝わったことから米金利低下とともにドル売りが強まり、134.38まで下落後、134.48レベルでNYオープン。朝方は再び売り優勢となり、134.41まで下落するが、海外時間安値(134.38)付近での底堅さを確認され、その後は買い戻し優勢となり、じりじりと上昇。午後はFOMC議事録が公表され、当局者数人が50bpの利上げを支持したことが明らかになるも、特段大きなサプライズは見当たらず、ドル円は買い反応するも135円台回復には至らず。終盤は小動きとなり、134.92レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.0650近辺でスタート。欧州時間では独2月IFO企業景況感指数が予想を下回ったことや、ビルロッド・カロー・仏中銀総裁が「ECB、9月までの毎会合で利上げする義務はない」と円売色の強い発言をしたことが重しとなり、1.0625まで下落後、1.0648レベルでNYオープン。オープン後、レンジトレードが続くが、FOMCの議事録公表後はドル買い優勢となった。一時的に1.06レベルを割り込み1.0598をつけるも、終盤に小幅反発し、1.0606レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。